

議会報告会報告書

開催日時	平成27年7月24日（金） 午後 7時00分～ 8時30分	
開催場所	衣笠コミュニティセンター	
出席議員	代表者	山口道夫
	司会者	山口道夫
	報告者	小室卓重（予算）、鈴木真智子（総務）、田辺昭人（生環）、西郷宗範（教福）、石山 満（都整）、小林伸行（観光）
	記録者	小幡沙央里（パソコン操作：二見英一、受付：ねぎしかずこ）
参加人数	17 名	
報告内容	<p>（質問・回答）</p> <p>Q 総務常任委員会、教育福祉常任委員会両方の予算で横須賀製鉄所150周年記念事業が計上されているが、これは何が違うのか。</p> <p>A イベントは政策推進部、美術館関連は教育委員会の所管で、150周年記念事業を列挙してあるが、予算はそれぞれの部署で計上している。</p> <p>Q 観光を横須賀の基幹産業にしていくとのことだが、観光客が増えるとゴミが増えたり、渋滞が起こったりもするが、どのような意図で観光に力を入れているのか。</p> <p>A 勉強会でも観光の負の面の話は出た。今はまだ住民生活に影響が出るほどではないが、いずれ観光客が増えたら配慮が必要。やりながら考え、民間事業者と調整しつつ進めたい。</p> <p>Q 空き家は谷戸地域以外にもあるが、いかがお考えか。</p> <p>A 現在市内に約3万戸の空き家がある。特に谷戸地域は空き家になると、その後放置されがち。まず谷戸地域の優良な空き家は活用し、危ないものは壊すなどしたい。高齢者はなるべく低地、平地へ移り住んでもらったり、若い人に空き家を低料金で提供したり、総合的に空き家対策を進めていきたい。</p> <p>Q 空き家件数に対して、補助金で対策するのは全部で19件とあるが、少なすぎるのでは。</p> <p>A まずはモデル地区を定めて行っている。谷戸地域の空き家となると所有者がなかなか手を付けないことが多い。確実に空き家対策を進めるため、件数は少ないが、予算化した。</p> <p>Q E S C O事業に移行されると街路防犯灯の窓口は町内会から市役所になるのか。</p> <p>A 今後は市民安全部の所管になる。現在市内の町内会に街路防犯灯LED化について合意形成を更に進めている。</p> <p>Q 観光に力を入れているのはいいが、バラバラにやっても意味がないので、きちんとストーリーをつくり、盛り上げてほしい。他市の取り組みも参考にされてはいかがか。</p> <p>A ストーリーは大切。全てを市が企画するのではなく、民間と協力し、観光ルートづくりなどもやっていく。観光立市推進に関しては議会でも特別委員会が設置され、そこで市民の意見をきくことも行う予定。</p> <p>Q 生活困窮者へ支援など予算化されているが、福祉の面で若い人への支援が少なく感じる。生活困窮者への支援の予算が880万円となっているが、困窮者は何人いるのか。職業案内所等で把握はできないのか。</p> <p>A 生活困窮者は生活保護者の一手手前、というステージにいる人たちを指しているので、明確な数値は把握していない。職業安定所に来る人が必ず生活困窮者とは限らないので、その人数は把握していない。</p> <p>Q 仕事がないと収入もなく、だから生活に困窮すると思うが、そんな中、「人手不足だから」と国は外国人の投入をしていく流れもある。おかしいのでは。</p> <p>A 市の方にも伝えていく。</p> <p>Q 政務活動費の報告書に領収書を添付すると思うが、インターネットで領収書の公開はしないのか。</p> <p>A 横須賀は政務活動費に関し、マニュアルを作成し、年に一度報告書を提出する。領収書は原本を提出することになっており、それらは市役所一階の市政情報コーナーで公開している。領収書のネット公開に関してはまだ議論されていないので、今後検討していく。</p> <p>Q 横須賀の良い点として、ゲリラ豪雨が少なく、猛暑が少なくなど「気候」に注目してはいかがか。お金で買えない住みやすさが横須賀の気候にはあるので、それをいかし、日帰りの観光を、リゾート地へと発展させてはいかがか。</p> <p>A 今後気候を活かした取り組みは観光立市推進特別委員会でも共有していく。現在相鉄線沿いの住民に横須賀への移住を呼び掛けている。市内、市外へのアンケートでは、市内在住者が感じている住みやすさが、市外の人にイメージされていない現状がある。市外へ向けて、横須賀の良さを発信していく。観光に関して、交通アクセスも大切。横浜横須賀高速道路通行料金も下がり、またスマートインターチェンジも実現に向けて一歩踏み出した。観光で足を運んでもらい、横須賀の良さを知ってもらい、定住につなげていきたい。</p> <p>Q 街中で喫煙する人が多い。子どもがいても気にせず歩行喫煙する人がいるが、禁煙区域を広げるなど、禁煙に対し、もう少し強制力を持たせることはできないのか。</p> <p>A 禁止区域を広げることを議会で議論したこともあるが、表示板の整備など、難しい面もある。罰金をとる都市もあるが、横須賀はそこまではやっていない。しかし今の意見は行政にも伝えていく。商店街での歩行者の喫煙に関しては、個人の意識喚起が必要。商店街の人ともそうした状況を話合っていく。</p> <p>Q 議会報告会のチラシに会場ごとの参加議員の名を載せて欲しい。</p> <p>A 今後検討していく。</p> <p>Q 安保法案に関する意見書が横須賀市議会から出なかったのは残念。</p> <p>A 議会でも議論はあったが、国会で会期延長することが決まったので、あえて慎重審議に関する意見書は出す必要はない、との結論に至った。</p> <p>Q 観光に力をいれていくようだが、ティボディエ邸は今後再建されるのか。</p> <p>A（仮称）軍港資料館等検討委員会の中で検討してきた。議会としては推進していきたい。</p>	

横須賀市議会議長 様

平成27年 8月 7日

上記のとおり報告します。

代表者 山口 道夫